

氏 名	職 名	学 位
加藤 順一	教授	博士（法学）

担当科目	日本史概説Ⅰ、日本史概説Ⅱ、日本史特論Ⅰ、日本史特論Ⅱ、 埼玉・川越の歴史と文化、文化政策論、法学の基礎、歴史、 日本文化史、日本国憲法
研究分野	日本法制史、日本政治史
所属学会	法制史学会、公益財団法人史学会、三田史学会、慶應法学会

学会および社会における主な活動
富士見市入札監視委員会委員
主要研究業績
なし
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績
なし

氏 名	職 名	学 位
金原 由紀子	教授	博士（人文科学）

担当科目	「美術」、「西洋文化史」、「美術史 C（西洋）」、「西洋美術史」、「美術論」、「世界史特論 I」、「世界史特論 II」、「博物館概論」、「博物館実習」、「総合演習 I」、「総合演習 II」、「卒業研究 I」、「卒業研究 II」
研究分野	イタリア中世および初期ルネサンス美術史
所属学会	美術史学会、地中海学会、西洋中世学会

学会および社会における主な活動
・地中海学会 常任委員、講座企画委員、賞選考委員（2021 年度～） ・西洋中世学会 常任委員（2023 年 6 月～） ・日本学術振興会の特別研究員等審査会専門委員、卓越研究員候補者選考委員会書面審査員及び国際事業委員会書面審査員・書面評価員（2023 年 7 月 1 日～2024 年 6 月 30 日） ・法政大学人間環境学部、人間環境セミナー「芸術と社会」のゲスト・スピーカー（第 10 回「肖像画の変遷」11 月 27 日、第 11 回「ルネサンス美術と社会」12 月 18 日） ・書評「聖母マリアの晩年伝をひもとく美術史——聖書にない物語はどのように生まれ、美術に表されてきたのか」（桑原夏子『聖母の晩年——中世・ルネサンス期イタリアにおける図像の系譜』、名古屋大学出版会、2023 年）、『図書新聞』3639 号（2024 年 5 月 18 日）、武久出版
主要研究業績
なし
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績
なし

氏 名	職 名	学 位
木村 光太郎	教授	修士（法学）

担当科目	社会思想Ⅰ・Ⅱ、西欧政治思想史、社会学概論、社会学の基礎、哲学、コース演習Ⅰ・Ⅱ、総合演習Ⅰ・Ⅱ、卒業研究Ⅰ・Ⅱ
研究分野	現代社会論、民主主義論、政治社会学
所属学会	日本政治学会、政治思想学会、医学哲学・倫理学会

学会および社会における主な活動
NPO 法人「子ども大学かわごえ」理事
主要研究業績
なし
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績
なし

氏 名	職 名	学 位
小林 和久	教授	社会学修士

担当科目	社会心理学Ⅰ・Ⅱ、組織コミュニケーション論、ビジネス・コミュニケーション演習（パーソナルブランディング）、コース演習Ⅰ・Ⅱ、総合演習Ⅰ・Ⅱ、卒業研究Ⅰ・Ⅱ、教育心理学、介護等体験事前指導Ⅰ・Ⅱ
研究分野	社会心理学、性格心理学、教育心理学
所属学会	公益社団法人日本心理学会、日本社会心理学会、日本パーソナリティ心理学会、日本教育心理学会、日本説得交渉学会、アジア社会心理学会、一般社団法人日本 SCT 学会

学会および社会における主な活動	
一般社団法人日本 SCT 学会常務理事 日本 LD 学会第 33 回大会参加（神戸国際会議場・神戸国際展示場：2024 年 10 月） 北陸心理学会第 59 回大会参加（金沢市近江町交流プラザ：2024 年 12 月）	
主要研究業績	
「新型コロナウイルス流行期が児童生徒の行動に及ぼした影響について」 『尚美学園大学教職・資格課程センター 教職課程年報』第 7 号、pp.59-66. 2025 年 3 月（単著）	
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績	
なし	

氏 名	職 名	学 位
小林 正英	教授	博士（法学）

担当科目	地域研究論（ヨーロッパ）、国際政治史、現代の国際社会、国際政治論 公共政策演習（地域研究論（ヨーロッパ））、公共政策応用演習（国際政治史）、 基礎演習 I/II、コース演習 I/II、キャリア演習 I/II、卒業研究 I/II
研究分野	国際関係論、欧州統合論、安全保障論
所属学会	一般社団法人日本国際政治学会、日本 EU 学会、国際安全保障学会、日仏政治学会 グローバル・ガバナンス学会

学会および社会における主な活動
学会討論（英語）”Win-Win Wins? Kazakhstan-EU Strategic Partnership”, 日本 EU 学会関東部会 2025 年 2 月 8 日。
主要研究業績
「第 3 部 誰が世界秩序を担うのか？第 9 章 担わない欧州？—多極化と戦略的自律—」五十嵐隆幸，大澤傑共編著『米中対立と国際秩序の行方—交叉する世界と地域—』東信堂、2024 年 8 月 5 日。
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績
研究分担「冷戦終焉期フランスのアジア外交の総合的研究」（研究代表黒田友哉専修大学准教授，基盤研究 B）

氏 名	職 名	学 位
庄 発盛	教授	博士(経済学、大阪大学)

担当科目	基礎演習Ⅰ、コース演習Ⅰ（経営プランニング）、卒業研究Ⅰ、経済学の基礎、ミクロ経済学、総合演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ、コース演習Ⅱ（経営プランニング）、卒業研究Ⅱ、経済学の基礎、環境経済学、総合演習Ⅱ 大学院：国際経済論研究、総合政策特殊研究（個別研究指導）、総合政策特殊研究（修士論文指導）審査（主査、副査）
研究分野	人的資本、国際貿易、環境
所属学会	一般社団法人日本経済学会 日本国際経済学会 日本経済政策学会 東アジア経済学会 The East Asian Economic Association（EAEA）

学会および社会における主な活動
(学会) 1) 国際学術研究論文の発表 論文タイトル：「労働短缺與薪資上漲的因果關係研究-探討台灣的勞動市場-」 第六屆「日本與全球政經變遷及影響」國際學術研討會（2024 年 12 月 13 日） 2) Malaysia-Japan Visionaries Conference (MJVC) 2024 の討論者、座長、審査員として招聘（2024 年 9 月 14 日-16 日） 3) Symposium 2025（大阪万博、大阪大学）大会準備委員会委員長就任 4) 日本国際経済学会参加（関東支部、関西支部、中部支部） 7 月 27 日、9 月 7 日、11 月 16 日、11 月 30 日、12 月 21 日、1 月 11 日、1 月 25 日 (社会活動) 社会貢献ボランティア活動: 鶴ヶ島市上広谷中央壮年会会長(2022 年 4 月～2023 年 3 月、2023 年 4 月～2024 年 3 月、2024 年 4 月～2025 年 3 月) 鶴ヶ島市上広谷中央自治会公民館対策委員会委員長(2024 年 4 月～) 鶴ヶ島市上広谷中央自治会総務部部長(2024 年 4 月～2025 年 3 月) 鶴ヶ島市上広谷中央自治会総会議長（2024 年 4 月 14 日） 鶴ヶ島市上広谷中央自治会マレーシア視察：役員及び埼玉県長峰宏芳元県会議長引率マレーシア現地国会議員州議員と面会、意見交換・交流（2025 年 2 月 14 日～2 月 19 日） 学内外出前講座： 1) 留学生特別体験授業（中央情報専門学校日本語本科）（2024 年 7 月 17 日） 2) 高等学校特別体験授業（岩槻北陵高等学校）（2025 年 1 月 9 日） 海外講演： 1) ラーマン大学招聘スピーカー（2024 年 8 月 1 日） 2) マラヤ大学招聘スピーカー（2024 年 8 月 6 日） 3) Tailor's University 講演（2025 年 2 月 6 日） 4) ラーマン大学体験授業（2025 年 2 月 17 日） 5) マレーシア・セレンバン市、市民公開講座講演（2025 年 2 月 15 日） 6) 芙蓉中華学校講演（1 回目）（2025 年 2 月 19 日） 7) 芙蓉中華学校講演（2 回目）（2025 年 2 月 20 日）
主要研究業績
1) 『人手不足と賃金上昇の因果関係についての考察』尚美学園大学総合政策論集第 38 号 2) 『労働短缺與薪資上漲的因果關係研究-探討台灣的勞動市場-』第六屆「日本與全球政經變遷及影響」國際學術研討會論文集
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績
特になし

氏 名	職 名	学 位
真下 英二	教授	修士（法学）

担当科目	現代社会と政治、コース演習Ⅰ・Ⅱ、政治学の基礎、地方自治論、まちづくり政策論、政治学Ⅰ、政治学Ⅱ、日本政治論、総合演習Ⅰ・Ⅱ、キャリア演習Ⅲ・Ⅳ、地方自治研究（大学院）
研究分野	政治学、地方自治、日本政治
所属学会	日本政治学会、日本行政学会、日本選挙学会、日本法政学会、日本経済政策学会

学会および社会における主な活動	
川越市総合計画審議会委員（副会長） 川越市立小中学校適正規模・適正配置審議会委員（会長） 川越市協働事業審査委員会委員 川越市スポーツ推進審議会委員 川越市教育委員会の活動の点検評価懇話会委員 核兵器廃絶平和建設国民会議常任理事 政策研究フォーラム理事 特定非営利活動法人子ども大学かわごえ理事長	
主要研究業績	
特になし	
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績	
特になし	

氏 名	職 名	学 位
三野 裕之	教授	政治学修士

担当科目	情報と社会、デジタルメディア論、ソーシャルメディア論、情報倫理と法、コンテンツビジネス論、情報通信政策論、コース演習Ⅰ／Ⅱ、総合演習Ⅰ／Ⅱ、卒業研究Ⅰ／Ⅱ
研究分野	デジタルメディア論、メディア史、コンテンツビジネス論
所属学会	日本メディア学会、公益財団法人情報通信学会、日本出版学会、三田社会学会

学会および社会における主な活動
なし
主要研究業績
なし
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績
なし

氏 名	職 名	学 位
安 章浩	教 授	修士（政治学）

担当科目	行政学Ⅰ、Ⅱ、政治過程論、政策過程論、政治学の基礎、公共政策基礎、比較政治論、キャリア演習Ⅰ、Ⅱ、卒業研究Ⅰ、Ⅱ、ガバナンス研究、政治学研究、比較政治体制研究、パブリック・マネジメント研究
研究分野	行政学、比較憲政体制研究、公共政策学、政治過程論、英国政治・行政研究、ガバナンス研究、公共経営論、日本の行政改革研究
所属学会	日本政治学会、日本行政学会

学会および社会における主な活動
なし
主要研究業績
著書 1、「アメリカ合衆国憲法の制定過程(2 下): 連邦憲法制定による分権的国家連合体から集権的連邦共和国へ」『尚美学園大学総合政策論集』第38号、2024年（単著）
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績
なし

氏 名	職 名	学 位
大西 麗衣子	准教授	修士（教育学）

担当科目	生涯学習支援政策論、総合演習Ⅰ、総合演習Ⅱ、キャリア演習Ⅲ、キャリア演習Ⅳ、キャリア演習Ⅲ（再履修）、キャリア演習Ⅳ（再履修）、卒業研究Ⅰ（再履修）、卒業研究Ⅱ（再履修）、生涯学習論Ⅰ、生涯学習論Ⅱ、博物館教育論、教育原理、介護等体験事前指導Ⅱ、教職実践演習
研究分野	教育学（生涯学習学）
所属学会	日本生涯教育学会、日本教育制度学会、一般社団法人日本特殊教育学会、大学入試学会

学会および社会における主な活動
○学会における活動 2002 年 5 月 日本生涯教育学会 会員「現在に至る」 2005 年 5 月 日本教育制度学会 会員「現在に至る」 2023 年 12 月 日本特殊教育学会 会員「現在に至る」 2024 年 6 月 大学入試学会 会員「現在に至る」 ○社会における活動 2021 年 8 月 川越市、川越市障害者施策審議会委員「2024 年 7 月まで」 2023 年 5 月 川越市教育委員会、川越市公民館運営審議会委員「現在に至る」 2023 年 7 月 川越市教育委員会、川越市幼児教育振興審議会委員「現在に至る」 2023 年 8 月 埼玉県教育委員会、埼玉県社会教育委員「現在に至る」 2023 年 8 月 埼玉県教育委員会、埼玉県生涯学習審議会委員「現在に至る」 2024 年 8 月 川越市、川越市障害者施策審議会委員「現在に至る」
主要研究業績
○資料 ・「川越市における公立小学校と公立学童保育室の歴史」 尚美学園大学教職課程年報第 7 号、尚美学園大学教職・資格課程センター、2025 年 3 月 31 日、pp.41～46、単著 ○学会発表 ・「我が国の芸術関係の専門学科を設置する公立高等学校の現状」 日本教育制度学会第 31 回大会、於：聖徳大学、2024 年 11 月 23 日、単独、口頭発表 ・「特別支援学校生の学校から社会への移行期における生涯学習支援の検討」 日本生涯教育学会第 45 回大会、於：国立教育政策研究所社会教育実践研究センター、2024 年 11 月 30 日、単独、展示発表
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績
科学研究費助成事業 2025 年度 基盤研究（C）一般

氏 名	職 名	学 位
田中 啓太	准教授	博士（経済学）

担当科目	マクロ経済学、経済政策論、労働経済論、経済学の基礎、現代社会と経済、基礎演習Ⅰ・Ⅱ、コース演習Ⅰ・Ⅱ、キャリア演習Ⅰ・Ⅱ、卒業研究Ⅰ・Ⅱ、経済政策研究（大学院科目）
研究分野	・L.ロビンズの経済学を中心とした 20 世紀イギリス経済学史の方法論的検討 ・東南アジア地域における環境・福祉政策に関わる実証研究
所属学会	経済学史学会、社会思想史学会、進化経済学会

学会および社会における主な活動
○中京大学経済研究所特任研究員 ○学外講演 2024 年 7 月「経済学の歴史から経済学を捉えなおすー経済政策と景気循環論ー」（深圳大学東京校）
主要研究業績
○論文 2025 年 3 月「P. H. ウィックスティードの経済学における個人と社会」、『尚美学園大学総合政策論集』39 号 ○学会等報告 2024 年 6 月「P. H. ウィックスティード “The Common Sense of Political Economy” にみる個人と社会」、経済学史学会関東部会 2024 年度第 1 回研究会（日本大学） 2024 年 7 月「アジア多国間比較に見る史的状況と今後の展開について」社会科学の方法論と理論研究会（名古屋大学）
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績
2023 年度～2025 年度：JSPS 科研費 基盤研究(C)「P. H. ウィックスティードの非合理性と経済学体系」（課題番号 23K01323）研究代表者

氏 名	職 名	学 位
畑中 綾子	准教授	博士（社会科学）

担当科目	民法Ⅰ、民法Ⅱ、民法Ⅲ、基礎演習Ⅰ・Ⅱ、コース演習Ⅰ・Ⅱ、総合演習Ⅰ・Ⅱ、卒業研究Ⅰ・Ⅱ、 大学院 法学研究、契約法研究
研究分野	民法、医事法、生命倫理
所属学会	日本医事法学会、日本生命倫理学会、法と教育学会、日本私法学会、一般社団法人医療の質・安全学会、日本障害法学会、臨床倫理学会、日本保健医療社会学会

学会および社会における主な活動
◆東京都社会福祉審議会委員 ◆順天堂医院「臨床研究審査委員会」委員・順天堂大学薬学部「倫理委員会」委員 ◆滋賀県長浜市・京都大学共同事業「ながはま 1 万人ゼロ次コホート事業」特定非営利法人健康づくりゼロ次クラブ・コンプライアンス委員会委員 ◆東京都北療育センター倫理委員会委員 ◆日本医事法学会総務委員会
主要研究業績
【論文】 ① Futoshi Iwata, Ryoko HATANAKA, “Japan’s 2015 Medical Accident Investigation Scheme and its Failures”, volume 15th, NYCU(National Chiao Tung University) Law Review, scheduled for the Fall issue of 2024 ② Mark A.Rothenstein et al, “International scope of biomedical research ethics review— Many countries consider long-term implications for society” , SCIENCE, 12 JULY 2024・VOL 385 ISSUE 6705 pp.145-147 ③ 畑中綾子・瀬戸山陽子・岩岡美咲・菅野摂子「障害者が働くことに理由が必要なのか～医療的ケア児の親・重症身体障害者の語りから」尚美学園大学総合政策論集第 39 号, 49-61, 2025.3 (尚美学園大学) ④ 畑中綾子「インクルーシブ教育に関する近年の動向」月刊高校教育 57 (13), 94-97, 2024 年 12 月号 (学事出版) ⑤ 畑中綾子「障害のある子に対する定員内不合格の不当性」月刊高校教育 57 (7), 94-97, 2024 年 6 月号 (学事出版) 【学会】 ① 「AI/コミュニケーション支援技術の高齢社会への導入による自己決定/プライバシー権に関する法的課題」日本生命倫理学会、大阪、2024.11.17 ② 「ナラティブ×テクノロジー」Code for Japan2024、滋賀、2024.11.16 ③ WS「法学部以外で医事法を教育することの意義」日本医事法学会、広島、2024.10.16、 ④ “Japan’s 2015 Medical Accident Investigation Scheme and its Current Challenges” World Congress for Medical Law, 2024.7.22, Batam, Indonesia ⑤ 自主企画 WS『技術とともにある豊かな社会の実現：その法的・倫理的・社会的課題』「法的課題から」日本保健医療社会科学会 2024.6.2 (奈良) ⑥ 日本保健医療社会科学会 RTD 「障害のある人とともに働くために～医療的ケア児の家族の語り・障害学生の語りを収集した経験から」2024.5.26 日本保健医療社会科学会 RTD 企画者 (千葉)
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績
2023 年 11 月～2024 年 12 月みずほ福祉財団「重症心身障害児・医療的ケア児に対する学びの保障：分離教育からインクルーシブ教育に向けた制度支援ネットワークの構築」（研究代表者）1,000 千円 2023 年 12 月～2025 年 5 月ファイザー研究助成（国内共同研究）「高齢者を支援する先端技術とその法的・倫理的課題の検討」（共同研究者）450 千円 2024 年 11 月～2026 年 3 月 SOMPO 福祉財団ジェロントロジー研究助成（研究代表者）「高齢者支援技術の導入による高齢者の内心の自由および自由な意思決定の侵害に対する ELSI（法的倫理的社会的課題）の研究」500 千円 2025 年 2 月～2026 年 3 月日立財団・倉田奨励金（研究代表者）「脳波測定等による感情認識技術と障害者の内心の自由」1,000 千円 2025 年 2 月～2026 年 3 月司法協会研究助成（研究代表者）「医療事故調査制度への不報告事例の分析を通じた制度課題の検討～制度創設から 10 年の節目にあたって」900 千円 その他、申請実績 2 件あり

氏 名	職 名	学 位
御手洗 大輔	准教授	修士（法学）

担当科目	憲法研究、行政法研究Ⅰ、行政法研究Ⅱ、税法研究Ⅰ（総則）、日本国憲法、憲法Ⅰ、憲法Ⅱ、行政法、行政法Ⅰ、法学の基礎、地方自治法、基礎演習Ⅰ、基礎演習Ⅱ、総合演習Ⅰ、総合演習Ⅱ、キャリアプランニング基礎（公務員試験対策）、キャリアプランニング演習Ⅰ～Ⅷ（公務員試験対策）
研究分野	法学
所属学会	なし

学会および社会における主な活動	
委員	さいたま市男女共同参画推進協議会 委員
主要研究業績	
教科書	2024 年 4 月拙著『キャリアプランニング基礎（講義私案）』デザインエッグ社
論文	2024 年 12 月拙稿「税務行政の DX 化がサラリーマン税金訴訟の射程に与える影響について」『総合政策研究紀要』第 41 巻 19 頁～18 頁所収 2025 年 3 月拙稿「法学答案の作成指導に関する一考察」『教職課程年報』第 7 号 14 頁～26 頁所収
その他	なし
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績	
科研費	科研費「挑戦的研究（開拓）」に申請。

氏 名	職 名	学 位
小柳 達也	准教授	博士（社会福祉学）

担当科目	社会福祉Ⅰ・Ⅱ、地域福祉論、社会保障論、ボランティア論、介護等体験事前指導Ⅰ、基礎演習Ⅰ・Ⅱ、コース演習Ⅰ・Ⅱ（公共・社会貢献）、社会福祉政策研究（大学院科目）
研究分野	社会福祉学
所属学会	一般社団法人日本社会福祉学会、社会政策学会、日本老年行動科学会、一般社団法人日本福祉のまちづくり学会、日本地域政策学会、日本地域福祉学会 他

学会および社会における主な活動	
日本老年行動科学会評議員および研究委員会委員 日本老年行動科学会第26回東京大会事務局長（企画委員を兼務） 日本福祉のまちづくり学会市民参加のデザイン特別研究委員会委員（委員長推薦委員） 青森県社会福祉士会法人後見事業第三者委員会委員長 燕市地域福祉計画推進委員会委員長	
主要研究業績	
著書および論文、寄稿等（2024年度）	
1. 島田拓巳・小柳達也・阿部裕二（2025）「市町村による地域福祉計画の自己評価と影響する要因について：市町村に対する質問紙調査結果から」『社会福祉学』第65巻第4号、71～82頁【論文・査読有り】 ＊この他、著書（問題集・分担執筆）1件、寄稿3件	
学会発表およびシンポジウム企画・登壇、講演等（2024年度）	
1. 堀口康太他（2024.9.28）「日々の実践から研究の知を創り上げるケアと研究の出会い」日本老年行動科学会第26回東京大会企画シンポジウム（会場：白百合女子大学） コーディネーター：堀口康太 シンポジスト：島田拓巳・和久井久光 指定討論者：小柳達也 企画者：福馬健一・小柳達也・堀口康太	
2. 和久井久光・小柳達也（2024.9.28）「生活支援体制整備事業のあり方に関する検討：『八戸モデル』と新潟市西区の比較から」（口頭発表）日本老年行動科学会第26回東京大会（会場：白百合女子大学）	
3. 宮園崇弘・小柳達也（2024.9.28）「災害救援活動に福祉専門職が参画することの意義と活動による知見の福祉現場での活用：高齢者を対象とした災害ソーシャルワーク実践の蓄積からみえてきたことの考察」（口頭発表）日本老年行動科学会第26回東京大会（会場：白百合女子大学）	
4. 泉田貴美子・小柳達也（2024.9.28）「認知症カフェにおける医療従事者の参加に関する文献検討」（口頭発表）日本老年行動科学会第26回東京大会（会場：白百合女子大学）	
5. 和久井久光・小柳達也（2024.11.2）「レクリエーションを活用して民生委員と自治会長の連携を生み出す」（DTワーク・レクリエーション発表＜口頭発表＞）新潟青陵学会第16回学術集会（会場：新潟青陵大学）	
6. 小柳達也（2024.6.3）「ヤングケアラーの理解と支援」（講師）新潟市教育相談センター主催「令和6年度子どもを取り巻く現代的課題を理解する講座」（会場：オンライン）	
7. 島田拓巳・小柳達也（2024.11.18）「青森県八戸市における生活支援体制整備事業の展開過程（重層の支援体制の整備に関連する内容）」（講師）燕市主催「令和6度燕市地域福祉推進事業講演会」（会場：燕市役所）	
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績	
継続中（研究期間：2022～2025年度）	
日本学術振興会科学研究費助成事業基盤研究(C) 研究代表者 「地域における公益的な取組」を通じた社会福祉法人職員と高齢住民の協働モデルの開発	